

## 脱原発再生可能エネルギー

### 無尽蔵の再生可能エネルギーの活用こそ人類を存続させる唯一の道

脱原発へとつながる再生可能エネルギー固定価格買取制度が7月から始まった。これにより太陽光、風力、バイオマス、地熱小水力発電などの普及が進むでしょう。その際、市民、自治体、NPOなどが取り組むことで、地域活性化をもたらす発電事業も活発化していくことが、期待されます。

過疎化や高齢化が進む農山村地域には豊富な再生可能エネルギー資源が存在することが多く、住民や自治体などが再生可能エネルギー発電事業を行えば、農業や漁業収入だけでなく売電収入の得られ、地域の蘇生にもつながります。

国民に利益を還元できる買取制度となるためにも普及主体は市民、自治体、地域企業などが従うべきです。

なぜ再生エネルギー中心にして行くべきか？

#### ① 最初に強調したいのは、地球温暖化への対応です。

→世界的な**気象変動は温室効果ガスの排出**が大きな要因です。

→地球は回復不可能な状態に陥ります。そこにあるのは**破滅しかありません**。鍵を握るのは再生可能エネルギー普及とエネルギー効率を高め、省エネをさらに進めることです。

→日本の産業界にとってもプラスになり、**経済の活発化**につながるはずです。

#### ② 石油などの再生不可能エネルギーはやがて資源は枯渇する。

自然を利用すれば日本は**資源大国**になる。

日本は周囲を海に囲まれ、風力資源が豊富で水力にも森林資源にも恵まれ、世界でも有数の地熱資源大国なのです。豊かな自然を利用することで、環境破壊を防ぎ、農林業を活性化させ、新しい産業の発達と雇用増加など社会構造を大きく変えていくことができます。

再生可能エネルギーなどの技術提供で**途上国の支援など国際貢献**もできます。

環境保全的で持続可能かつ安全エネルギー社会を構築するという長期的な戦略目標に基づく政策を政府が示すことです。

必ず “やり遂げなければならない目標” です。